

## 事務事業評価調書

事務事業名	少年自然の家施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	足立 均

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正内容	使用者別使用申込期間の拡充											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立少年自然の家条例施行規則の一部改正(第3条及び第4条内)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	小学校及び中学校の児童及び生徒、青少年団体の構成員、青少年教育の指導者等、研修プログラムに沿って自主的な活動を行う1家族以上或いは2人以上の団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	野外活動や自然体験学習などの体験の場を提供し、集団生活活動を通じて青少年の健全育成を図る。												
	事業概要		学校、青少年団体、少人数グループ、家族、環境サークル等の少年自然の家利用者に対して、野外活動の場や生涯学習の場を提供するためにハード及びソフト面の条件整備を行う。											
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	7	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		48,236	47,028	49,392	47,957	59,792							
	人件費	職員数	人	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85						
		総額(B)	千円	23,655	22,649	23,804	23,804	23,285						
	総事業費(A+B)		71,891	69,677	73,196	71,761	83,077							
	特定財源(C)		1,850	3,112	2,174	2,867	2,535							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,850	3,112	2,174	2,867	2,535							
	市負担(D)		70,041	66,565	71,022	68,894	80,542							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	70,041	66,565	71,022	68,894	80,542							
財源計(C+D)		71,891	69,677	73,196	71,761	83,077								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 総合建物管理(株)											
			② ネボン(株)大阪営業所											
			③ ヒラカワ(株)											
	主な委託内容		警備業務・清掃業務他											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	利用人数	目標値	(単位:人)	22,000.00	23,000.00	23,000.00
			実績値	(単位:人)	22,392.00	21,120.00		
			達成度(%)		101.8	91.8		
		目標値の積算方法	利用人数×利用日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.12	3.40
	一般財源(単位:千円)					2.98	3.26	
	②	指標内容	利用率	目標値	(単位:%)	75.00	77.00	79.00
			実績値	(単位:%)	74.40	78.30		
			達成度(%)		99.2	101.7		
目標値の積算方法		開所日に対する利用日数の割合	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		939.49	916.49	
	一般財源(単位:千円)				897.69	879.87		
(2) 成果指標	①	指標内容	利用人数	目標値	(単位:人)	22,000.00	23,000.00	23,000.00
			実績値	(単位:人)	22,392.00	21,120.00		
			達成度(%)		101.8	91.8		
		目標値の積算方法	利用人数×利用日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.12	3.40
	一般財源(単位:千円)					2.98	3.26	
	②	指標内容	利用率	目標値	(単位:%)	75.00	77.00	79.00
			実績値	(単位:%)	74.40	78.30		
			達成度(%)		99.2	101.7		
目標値の積算方法		開所日に対する利用日数の割合	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		939.49	916.49	
	一般財源(単位:千円)				897.69	879.87		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>使用者別使用申込み期間の拡充と利用人数等の要件の緩和及びホームページ等の情報発信の強化並びに休所日の臨時開所等の取り組みを行うことにより施設の付加価値を高める努力を行った結果、活動指標で上げました目標値の利用率で1.3%の増加となりましたが、利用人数では1,880人の減少となりました。今後は、更なる利用者ニーズの把握や校長指導連絡会等への出席や少年自然の家を利用されていない吹田市内の小・中学校へ訪問しPR活動を行っていきます。また、高島観光協会との連携による学校利用の促進を図り、環境教育や食育などの活動の取り組みを行い、利用者目線に立った受入、教育施設としての位置付けを維持しながら生涯学習施設としての機能の充実も図りながら、安全で安心して利用できる施設を目指します。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	1105				

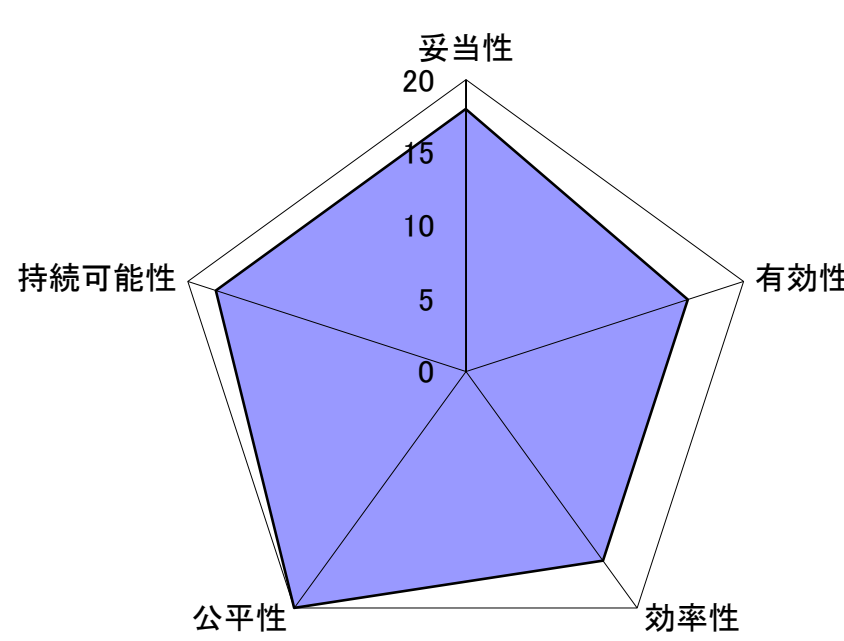
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1105
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>条例施行規則の改正(利用者別使用申込み期間の拡充)、ホームページ等の情報発信の強化、休所日の臨時開所等の取り組みを行い、利用者目線に立った柔軟な施設運営を図りました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	森林体験事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	足立 均

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市小学5年生から中学3年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	青少年期から「自然環境」を保全することの重要性について理解を深めることができる人を育成する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	「自然環境」について、真剣な考え方が構築できる。													
(7)	事業概要	日常生活と密接に繋がっている「森林」が今どようになっているのか、今後この森林を守り育てていくには何が必要かを、淀川水系の源である安曇川流域の森での樹木の伐採、間伐、皮むきなどの体験を行う。また、林業を専門にされている方の実話を聞き、森林の役割や保全作業の重要性を学ぶ。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	7	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		419	424	396	339	335							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	415	398	418	418	409						
		総事業費(A+B)		834	822	814	757	744							
		特定財源(C)		45	42	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		45	42	0	0	0						
		市負担(D)		789	779	814	757	744							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			789	779	814	757	744								
財源計(C+D)		834	821	814	757	744									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 申込人数	目標値	(単位:人)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:人)	30.00	22.00	
			達成度(%)		100.0	73.3	
		目標値の積算方法 申込人数÷募集人数(30人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27.43	34.41	
	一般財源(単位:千円)			26.03	34.41		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 申込人数	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	/
			実績値	(単位:人)	161.00	135.00	
			達成度(%)		100.6	84.4	
		目標値の積算方法 申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.11	5.61	
	一般財源(単位:千円)			4.85	5.61		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>樹木の間伐などの森林の保全作業を行うことにより、地面に光が届き、栄養豊かな土壌が出来、樹木の生長に繋がることを体験活動から学ぶことが出来ました。また、林業を専門にされている方の話を聞くことにより、自然環境に森林が果たす役割の重要性を知ることが出来ました。しかし、活動指標で上げました申込人数の30人と比較し8名減であり、中学生の人数を増やすことが今後の課題であります。また、1回の事業での参加でその人の考え方や姿勢が変化することは考えにくいですが、本事業での経験が何かのきっかけとなり将来、自然環境といった分野に興味を持ってもらえることが出来ることを望みます。</p>				

事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	森林体験事業	事業区分	その他
事務事業番号	1106				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

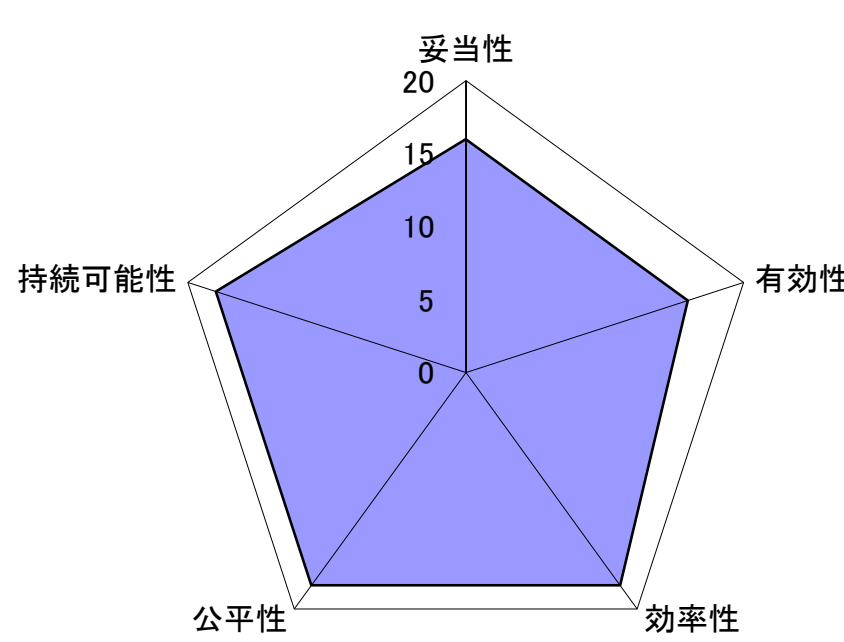
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1106
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

受益者負担の観点から森林体験学校での体験料の全額を参加者負担としました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、森林体験活動の特化した内容で実施しており、実際に林業を専門に活動されている人たちに直接指導を受けたり話を聞くことは、参加者にとって貴重な体験であると考えます。今後も継続的に本事業を実施していくためにも、参加者の意見を把握するためにアンケートを実施しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	足立 均

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	50							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市(100人)及び高島市(60人)の小学4年生から中学3年生												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	参加者同志の交流を深め、青少年の健全育成を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の交流を図ることにより、両市の交流が深まる。												
(7)	事業概要	<p>少年自然の家が開所した昭和55年(1980年)より吹田市と高島市の子どもたちが自然に親しみながら野外活動を通じて交流を深めることを目的とした2泊3日の事業であり、野外自炊、キャンプファイヤーなどを通じて、施設のスロガンである「発見・冒険・挑戦」の精神を培うとともにお互いの交流を深め、友達の輪を広げ、少年少女の健全育成を図る。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	7	大事業	3	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		329	299	519	400	502							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		1,159	1,094	1,355	1,236	1,319							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
			市負担(D)		1,159	1,094	1,355	1,236	1,319						
			地方債		0	0	0	0	0						
		(内訳)	その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,159	1,094	1,355	1,236	1,319								
財源計(C+D)			1,159	1,094	1,355	1,236	1,319								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 申込人数	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	160.00
			実績値	(単位:人)	161.00	135.00	
			達成度(%)		100.6	84.4	
		目標値の積算方法 申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.80	9.16	
	一般財源(単位:千円)			6.80	9.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 申込人数	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	160.00
			実績値	(単位:人)	161.00	135.00	
			達成度(%)		100.6	84.4	
		目標値の積算方法 申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.80	9.16	
	一般財源(単位:千円)			6.80	9.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、施設が開所した昭和55年(1980年)から続いている事業で、2泊3日の宿泊生活や様々なプログラムを通じ、「発見・冒険・挑戦」の精神を養い、お互いの交流を深めることが出来ました。プログラムでは、イワナつかみ、キャンプファイア、工作(クラフト)、飯盒炊飯など、吹田・高島両市の参加者が協力し活動が出来、もくもくの里ならではの活動を体験し夏休みの良い思い出を作ることが出来ました。本事業の成果は、参加者の成長と共に現れるもので数値だけでは単純に評価しにくいですが、この事業がきっかけとなり、参加者同志の交流が継続されることを望みます。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	01107				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	01107
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設が開所した昭和55年(1980年)から続いて事業であり、吹田市と高島市はフレンドシップ協定を結ぶ関係であり、両市の交流を図る上で重要な役割を担っている事業であります。また、この事業がきっかけとなり、参加者同志の交流が継続することを期待するためにも、事業終了後どのような形で発展・継続していくかを把握するためにアンケートを実施しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	少年自然の家改修計画事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	足立 均

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成8年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	40	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	少年自然の家の施設整備						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	老朽化した施設の整備を行うことにより安全で活動しやすい施設を目指す。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	教育施設としての機能を維持しながら幅広い利用を受け、生涯学習施設としての機能の充実も図り、安全で安心な施設利用が図れる。							
(7)	事業概要	施設が建設され36年が経過し、施設及び設備の老朽化に対応するため、年次計画的に改修工事を行うものです。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況	実施計画にも予算計上していますが、予算的な問題もあり本年も先送りとなっています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本施設は、建設後36年が経過し、施設及び設備の老朽化が生じています。これまで、年次計画的にトイレの簡易水洗化工事、耐震改修工事、外壁の塗り替え工事、冷暖房設備の改修工事、玄関前のバリアフリー工事、野外食堂の建設工事を実施してきましたが、平成20年度以降は実施されていません。利用者層の多様化にも対応し、安全で快適な活動や生活を提供するために、計画的に改修工事を行う必要があると考えられます。				

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家改修計画事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01352				

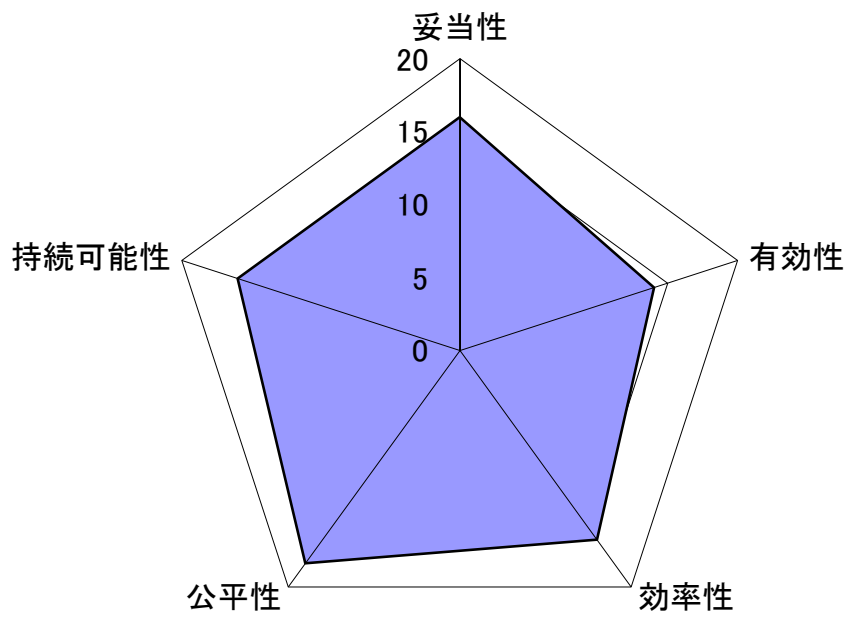
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	01352
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>予算の観点から、平成20年度以降は施設整備が先送りとなっており、風呂用濾過機の更新、野外倉庫等附属建物等の屋根など、最低限度の維持補修を早急に行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	自然観察会事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室少年自然の家	室課長名	足立 均

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	50	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	自然観察に関心がある人、保育園・幼稚園園児						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	季節を通じ日頃、体験できない自然との素晴らしい出会いを五感を使って観察することにより自然に関心を持ってもらう。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	この事業をきっかけに自然に関心を深めてもらうことにより、自然観察会以外での利用促進につなげることを目指す。							
(7)	事業概要	自然の家の自然環境を十分に活用し、季節を通じて、体験できない自然との出会いを五感を使って観察する。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 申込人数(一般公募)	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	160.00	
			実績値	(単位:人)	236.00	234.00		
			達成度(%)		147.5	146.3		
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(一般公募)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 申込人数(一般公募)	目標値	(単位:人)	160.00	160.00	160.00	
			実績値	(単位:人)	236.00	234.00		
			達成度(%)		147.5	146.3		
	目標値の積算方法	申込人数÷募集人数一般公募)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市内及び高島市内の保育園・幼稚園に自然観察会に関するPR用のちらしの送付などを行いました。			目標	高島市内だけでなく、吹田市内からの参加を目標としました。	
	②	成果内容	高島市内の園より5園(延べ14園)が平日において日帰りで自然観察会に参加されました。			達成状況	参加された園からは、好印象を得ることができました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		一般公募として行った事業は、直接的な予算の執行は伴わないですが、4回開催し、施設の自然環境を題材に自然の素材を活用した自炊や工作活動、テント泊、ザゼンソウ群生地へ出かけての観察など幅広く行いました。今後も、施設の特色と参加者のニーズに対応したプログラムを企画していきます。また、保育園・幼稚園児を対象とした事業は、見る観察から触って感じ取る観察を行いました。しかし、参加された園がすべて高島市内の園であり、困難な問題ではありますが、吹田市内に広めることが今後の課題と考えています。					

## 事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	自然観察会事業	事業区分	その他
事務事業番号	01353				

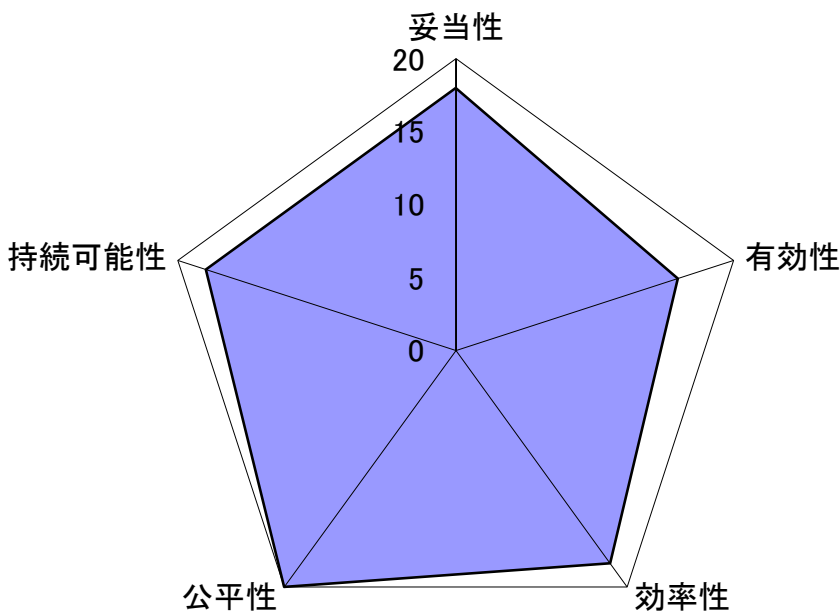
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	少年自然の家	事務事業番号	01353
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一般公募として行った事業は、4回実施し各回とも定員を超える応募があり、市民ニーズは高いと考えており、実施回数や募集枠の拡大の検討が必要であると考えます。また、保育園・幼稚園を対象として行った事業は、参加された5園(延べ14園)がすべて高島市内であり、吹田市を含めて他の地域に広めることが今後の課題であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)